

事業番号	02 05 01	事業改善シート (30年度実施事業分)	■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	バス等振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課	
		実施期間	S47 ~	E-mail	kotsu@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン) ※計画策定中のため変更があります						
政策推進の基本方針	人をひきつける快適な県づくり					

### 1 事業の概要

現状 (予算編成時)	○地域交通については、県民の生活の足として重要な役割を担っており、持続可能な交通体系を構築する必要がある一方で、利用者数の減少により乗合バス事業者等の収益の悪化や市町村の財政負担が増加し、継続的な運行に当たって大きな課題となっている。 ○バス、トラック事業者には、小規模事業者が多く、また、経営状況が厳しいこと等から、各業界の協会が中心となり、運輸事業の有効性を高める必要がある。	30年度要求額	654,038 千円
		職員数	3.00 人

目指す姿	○持続可能な公共交通の構築 ・広域的、基幹的な地域間幹線バス路線の確保・維持と利便性を向上させる。 ・市町村、交通事業者等と協働して、地域の実情に即した持続可能な交通体系を構築し、利用者の獲得・定着を図る。 ○営業用バス・トラックの輸送サービスの改善、安全運行の確保、環境と共生した安全安心な輸送の確保 (主な実施内容: 乗合バス事業者・タクシー事業者・市町村の支援、利用促進のための啓発、バス協会・トラック協会への助成、利便性向上のためのシステム拡張、シェアリングシステムの構築)
------	---

事業	区分(単位:千円)	28年度	29年度	30要求	30予算案	指標及びその達成状況							
						No	成果指標	28年度末	29年度末(見込)	30年度			
予算額	前年度繰越	0	0										
	Aの財源	当初予算	578,696	578,945	654,038								
補正予算		-850											
合計(A)		577,846	578,945	654,038	0								
コスト	一般財源	566,858	560,379	627,028									
	県債												
	国庫支出金	7,500	10,750	10,750									
	その他	3,488	7,816	16,260	0								
決算額(B)		575,723											
概算件数	職員数(人)	3.00	3.00	3.00									
	概算人件費(C)	23,742	23,742	23,742	0								
概算事業費(B(A)+C)		599,465	602,687	677,780	0								

成果指標設定理由	①地域間幹線バスの利用者を維持するため、1日当たり輸送量を成果目標に設定 ②乗合バス車両のバリアフリー化促進のため、地域間幹線バス運行事業者の低床バス導入率を成果目標に設定 ③営業用トラックの安全運行確保のため、交通事故件数を成果目標に設定 ④生活バス路線の維持確保につながる「信州ナビ」のダウンロード数を成果目標に設定
----------	---

指摘事項等への対応	指摘事項	対応
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 県民協働による事業改善	点検結果 ①改善の必要あり 12人 (強化・拡大:1, 現状維持:10, 合理化・縮小:1) ②現行どおり 0人 ③移管・廃止 0人 主な意見 ・県が主導して需要の深堀をし、それに対する具体的な取組をしてほしい。 ・沿線市町村との連携をよく図り、合理的に対応してほしい。 など	・持続可能な公共交通ネットワークの形成のためには、地方公共団体とバス事業者の双方向の対話の促進を通じ、路線バス事業の生産性が向上することが不可欠であると考え、国、県、市町村、事業者共同で地域間幹線バスの生産性向上の取組を検討。 ・合理的な運行欠損費の算定のため、補助対象経費の算定方法を変更します。

予算要求からの主な変更点	
--------------	--

### 2 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	政策推進の基本方針	細事業名	30年度 実施内容(予定)	職員数(人)	29年度(当初)	30年度	
						(要求)	(予算案)
1	快適	地域間幹線バス路線確保維持費補助金	①地域間幹線バス路線の運行欠損費に対する補助金 ②地域間幹線バス路線で使用するために購入した車両の減価償却費等に対する補助金 ③県がバス車両を購入し、地域間幹線バス路線を運行する乗合バス事業者に貸与	0.50	268,810	274,373	
2	快適	運輸事業振興助成補助金	長野県バス協会・長野県トラック協会が実施する輸送サービス改善・交通安全対策・環境保全対策等に対する保助成金	0.25	302,095	302,095	
3	快適	地域交通ベストミックス構築事業	①市町村が実施する地域交通の見直し等の取組に対する支援 ②市町村等に対する交通アドバイザーの派遣	0.50	8,040	9,528	
4	快適	公共交通乗換案内サイト構築事業	①「信州ナビ」へのバスロケーションシステム実装 ②「信州ナビ」の認知度向上のための仕掛けと移動データ分析	0.50		12,000	
5	快適	地域公共交通利用促進事業	モビリティマネジメント(MM)推進事業 ・市町村研修会の実施 ・モデル地域を選定し、ターゲットを絞った取組を実施するための専門家を派遣 ・メディアを通じた機運の醸成	0.50		2,343	
6	快適	より身近な地域交通として「羽ばたく(TAXI)PJ	ユニバーサルデザインタクシーの導入支援及び業界活性化の推進	0.25		12,000	
7	快適	ヒト・モノ相乗りによる広域交通システム構築事業	シェアリングによる新たな地域交通システムの構築	0.50		41,699	
合計				3.00	578,945	654,038	0

事業改善シート附表

事業番号	事業名	バス等振興対策事業費			部局	企画振興部		課・室	交通政策課			■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
02 05 01															
細事業No	細事業名	項目	実施方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施状況	28年度	29年度	30年度			県民協働事業改善		備考 (H29事業番号)	
							当初(千円)	当初(千円)	要求(千円)	当初(千円)	補正(千円)	決算(千円)	実施年度		主な点検区分結果
1	地域間幹線バス路線確保維持費補助金	地域間幹線バス路線確保維持事業費補助金	補助金	①路線の確保・維持のため、乗合バス事業者が運行する地域間幹線バス路線の運行欠損費に対する補助を行う(5事業者、28系統) ②バス車両のバリアフリー化推進・老朽化対策のため、乗合バス事業者が購入した低床バスの減価償却費等に対する補助を行う(4事業者、継続23台・新規導入3台) 【補助率:国1/2、県1/2】			205,891	192,810	192,473				29	見直し(現状維持)	020501
1	地域間幹線バス路線確保維持費補助金	県有民営による幹線バス路線確保対策事業	直接	地域間幹線バス路線の基盤強化のため、県がバス車両を購入し、地域間幹線バス路線を運行する乗合バス事業者に貸与する(新規導入3台)			53,000	76,000	81,900				29	見直し(現状維持)	020501
2	運輸事業振興助成補助金	運輸事業振興助成補助金	補助金	バス・トラックの安全・安心な輸送の確保を図るため、各協会が行う輸送サービスの改善や安全運行の確保等の取組に対して補助を行う 【補助率:10/10】 ○(公社)長野県バス協会 ①輸送サービス改善 ・路線バス行先表示器のデジタル化 等 ②交通安全対策 ・運転者適正診断、運行管理者講習の実施 等 ○(公社)長野県トラック協会 ①交通安全対策 ・衝突被害軽減ブレーキの導入助成 等 ②環境保全対策 ・アイドリングストップ装置の導入助成 等 ③全国協会への出捐			311,265	302,095	302,095						020501
3	地域交通ベストミックス構築事業	地域交通ベストミックス構築事業	補助金・直接	①持続可能な交通体系を構築するため、市町村等が実施する地域交通の見直し等の取組を支援する(継続5地域、新規導入2地域) 【補助率:県1/2】 ②地域交通の課題解消を促進するため、市町村等に対して交通アドバイザーを派遣する			4,540	8,040	9,528						020501
4	公共交通乗換案内サイト構築事業	広域バスロケーションシステム導入支援	負担金	路線バスを利用する際の不安解消や更なる情報充実のため、長野県観光・交通情報アプリ「信州ナビ」に、広域バスロケーションシステムを実装させる。 【負担先:長野市・松本市・交通事業者等で構成する団体負担率:県2/9】						10,000					
4	公共交通乗換案内サイト構築事業	認知度向上のための仕掛けと移動データ分析	委託	「信州ナビ」を、愛着を持たれ、利用する側・される側の双方が更に活用可能なアプリとするため、より独自の参加型・情報プッシュ型の以下の仕組みを実装する。 ・モバイルロケイニング・ウオーキング機能 ・プッシュ配信型アンケート実施 等 【委託先:アプリ保守事業者 ジョルダン(株)】						2,000					
5	地域公共交通利用促進事業	モビリティ・マネジメント(MM)推進事業	直接	○市町村職員研修会の実施 MMの効果的な実施方法の周知のため、市町村職員研修会を実施する。(県下4会場) ○MMIによる公共交通の利用促進を行うモデル地域を選定し、ターゲットを絞った取組を実施するため、専門家を派遣し支援を行う。							552				
5	地域公共交通利用促進事業	モビリティ・マネジメント(MM)推進事業	委託	○メディアを通じた機運の醸成 マイカー通勤者をターゲットに、通勤時間狙ったラジオスポットにより、公共交通への転換を図るほか、季節に応じた内容で新聞広告を掲載し、全県民に対し啓発を行う。 【委託先:広告代理店】						1,791					
6	より身近な地域交通として”羽ばたく(TAXI)PJ	ユニバーサルデザインタクシー(UDタクシー)の導入経費補助	補助金	移動困難者の生活の足の確保やニーズの多様化に対応するため、タクシー事業者に対し、UDタクシーの導入経費補助を行う。 【補助率:UD対応経費の1/2(上限600千円)国と同額】						12,000					
7	ヒト・モノ相乗りによる広域交通システム構築事業	シェアリングによる広域交通システムの構築	委託	生活の基盤である地域交通の確保及び買い物弱者等への支援により持続可能な地区づくりを図るため、シェアリングによる新たな地域交通システムを構築する。 【委託先:システム構築事業者】						41,699					
<b>合 計</b>							574,696	578,945	654,038	0	0	0			